



著作目録（鈴木励子）

著者	東北大学史料館
号	519
発行年	1994-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065336

鈴木勵子助手著作目録

平成 6 年 3 月
東北大学記念資料室
(著作目録第 519 号)



鈴木 勵子 助手 略歴

生年月日 1930年11月29日

本 籍 地 宮城県

出 生 地 XXXXXXXXXX

学 歴

昭和18. 3	青森県師範学校付属小学校卒業
昭和19. 4	常盤木学園高等女学校入学
昭和22. 10	常盤木学園高等女学校退学

学 位 な し

受 賞 な し

職 歴

昭和22. 11	第二高等学校（旧制）に雇として採用，化学科勤務を命ず
昭和24. 5. 31	第二高等学校が東北大学第二高等学校と改称する
昭和25. 4. 1	東北大学第二高等学校を分校第一教養部と改称する
昭和32. 4. 1	分校第一教養部を富沢分校と改称する
昭和32. 7. 28	雇を免じ事務官を命ず
昭和33. 9. 15	富沢分校を川内分校と改称する
昭和34. 9. 30	文部事務官に任命
昭和36. 10. 1	文部事務官から文部技官に任命
昭和44. 5. 1	文部教官助手に昇格
平成 5. 6. 10	現在に至る

学会ならびに社会における活動

昭和45. 10	地球化学会員（現在に至る）
昭和48. 8	温泉科学会員（現在に至る）
昭和52. 4	火山学会会員（現在に至る）
昭和54. 4	地熱学会会員（現在に至る）
昭和62. 8	温泉科学会評議員（現在に至る）

著 作 目 録

吸 着 関 係

1. 樋口 泉・鈴木励子 (1960) カーボンブラックを賦活したときの粒度変化. 日化, **81**, 206-209.
2. 樋口 泉・牛木弥太郎・鈴木励子 (1961) 多孔性 Vycor ガラスによる気体の収着平衡. 日化, **82**, 1620-1624.
3. 樋口 泉・牛木弥太郎・鈴木励子 (1962) 微粒収着剤への蒸気収着等温線と理論的毛管凝縮等温線. 日化, **83**, 808-813.
4. 樋口 泉・鈴木励子 (1963) 微粉混合成形体へのメタノール収着平衡と微粉の分散性. 日化, **84**, 306-311.

地球化学関係

5. 鈴木励子 (1971) 鉄質沈殿物のヒ素. 日化, **92**, 792-794.
6. 鈴木励子 (1972) 石灰華のヒ素. 地球化学, **5**, 24-27.
7. 鈴木励子 (1973) 石灰華の熱的性質. 地球化学, **6**, 5-9.
8. 鈴木励子 (1974) 鉄質沈殿物の熱的性質. 地球化学, **7/8**, 1-8.
9. 一國雅巳・鈴木励子・加藤武雄 (1977) 食塩泉の化学的特徴. 温泉科学, **25**, 21-25.
10. 石神 工・鈴木励子 (1977) 石灰華の結晶形に関与する因子. 地球化学, **11**, 9-13.
11. 鈴木励子 (1979) アルカリ性鉱泉中のフッ素. 地球化学, **13**, 25-31.
12. 酒井幸子・鈴木励子 (1980) 伊香保温泉の引湯による温泉水と沈殿物の変化について. 群馬県温泉協会学術調査研報, 1-8.
13. 鈴木励子 (1981) 地熱地帯の地球化学研究 — 新庄温泉沈殿物を例として — 東北大教養, 特定研報, 11-15.
14. 一國雅巳・鈴木励子・鶴見 実 (1982) 水 — 岩石相互作用の生成物としてのアルカリ性鉱泉水, 地球化学, **16**, 25-29.
15. 酒井幸子・松葉谷 治・鈴木励子 (1983) 群馬県星尾温泉の流下による組成変化

と石灰華の生成について. 地球化学, **17**, 127-135.

16. 鈴木励子・横林洋子・長瀬賢三 (1984) 環境物質の相互作用に関する総合的研究
環境物質の熱分析. 東北大教養, 特定研報, 43-47.
17. 鈴木励子 (1986) 鉄質沈殿物中のシリカの挙動. 東北大教養, 特定研報, 375-380.
18. 酒井幸子・鈴木励子 (1986) 浅間高原温泉および伊香保温泉の引湯に伴なう温泉
水ならびに沈殿物の変化. 温泉科学, **36**, 115-124.
19. 酒井幸子・小林隆志・鈴木励子・木暮 敬 (1988) 群馬県下の温泉の化学成分
第14報, 伊香保温泉の引湯による成分変化について (2). 群馬県衛公研報,
20, 67-71.
20. 鈴木励子 (1989) 群馬県の温泉沈殿物 — 伊香保温泉鉄質沈殿物 — 温泉科学,
39, 58-62.
21. 酒井幸子・斉藤 実・鈴木励子 (1990) 群馬県の荒船温泉の化学成分. 温泉科学,
40, 80-89.
22. 鈴木励子・酒井幸子 (1990) 温泉水から析出したマンガン沈殿物. 地球化学,
24, 55-64.
23. 鈴木励子・酒井幸子・菊地昌枝 (1994) 伊香保温泉から析出したノントロナイト.
地球化学, **28**, (印刷中).
24. 鈴木励子・酒井幸子・横林洋子 (1994) 群馬県荒船温泉産沈殿物. 温泉科学,
44, (印刷中).

超伝導関係

1. 菊地昌枝・常盤文子・長瀬賢三・鈴木励子・庄野安彦 (1987) 高温超伝導酸化物
の熱重量分析によるキャラクターゼーション, 結晶成長誌, **14**, 204-207.
2. 長瀬賢三・横林洋子・鈴木励子 (1988) 金属錯体の選択的反応機構に関する研究,
東北大学教養, 特定研究, 53-58.
3. Kazuhiro UEKI, Ayako TOKIWA, Masae KIKUCHI, Teruo SUZUKI,
Masayasu NAGOSHI *Reiko SUZUKI*, Norio KOBAYASHI, and Yasuhiko
SYOUNO (1990) Valence State of $Ba_{1-x}K_xBiO_{3-\delta}$ Superconductor Controlled
by the Oxygen Content, *Advances in Superconductivity II*, 489-492.

4. M.KIKUCHI, S.NAKAJIMA, Y.SYOUNO, K.NAGASE, R.SUZUKI, T.KAJITANI, N.KOBAYASHI, and Y.MUTO (1990) THERMOGRAVIMETRIC STUDIES OF THE OVER-DOPING STATE OF $Tl_2Ba_2CuO_{6-\delta}$ DUE TO CHARGE TRANSFER Physica C **166**, 497-501.
5. M.KIKUCHI, H.NAMEKI, Y.SYOUNO, R.SUZUKI, M.NAGASE, S.AWAJI, and N.KOBAYASHI (1991) SUPERCONDUCTIVITY OF $Bi_{2-z}Pb_zSr_{2-x}Ln_xCuO_y$ ($Ln = La, Nd$) AND VALENCE ANALYSIS OF Bi AND Cu Physica C **185-189**, 683-684.
6. Y.Muraoka, M.Kikuchi, N.Ohnishi, K.Hiraga, R.Suzuki, N.Kobayashi and Y.Syono (1992) Structural and superconducting properties of iodine intercalated $Bi_2Sr_2Ca_{1-x}Y_xCu_2O_z$ North-Holland Physics Publishing Physica C **204**, 65-70.
7. Satoru NAKAJIMA, Takeo OKU, Reiko SUZUKI, Masae KIKUCHI, Kenji HIRAGA and Yasuhiko SYONO (1993) Chemical Characterization and Superconductivity of $Tl_2Ba_{2-x}La_xCuO_y$ with the orthorhombic and tetragonal structures Physica C **204**, 80-86.
8. E.Ohshima, M.Kikuchi, M.Nagoshi, R.Suzuki, S.Nakajima, K.Nagase, and Y.Syono (1993) Structure and superconductivity of $Tl_{0.5}Pb_{0.5}Sr_2CuO_y$ Physica C **214**, 183-186.
9. Y.Muraoka, M.Kikuchi, H.Nameki, S.Awaji, R.Suzuki, N.Kobayashi, and Y.Syono (1993) Effects of iodine intercalation on the superconducting property of the $Bi_2Sr_{2-x}La_xCuO_z$ Compound Physica C **215**, 402-406.

口頭発表 (地球化学関係)

1. 有井癸巳雄・牛木弥太郎・佐藤励子 (1955) 温泉の触媒作用, 温泉科学講演要旨 p 24.
2. 鈴木励子 (1974) 石灰華のフッ素, 地球化学講演要旨 p 85.
3. 鈴木励子 (1974) 石灰華のフッ素含量, 温泉科学, **25**, 2, 118.
4. 竹内丑雄・一國雅巳・鈴木励子 (1975) 降水中の化学成分の地域性, 地球化学講演要旨 p 52.
5. 鈴木励子 (1976) アルカリ性鉱泉水のフッ素含量 温泉科学, **27**, 2/3, 110.

6. 一國雅巳・鈴木勸子 (1976) 水—岩石相互作用の例としてのアルカリ性鉱泉, 地球化学講演要旨 p117.
7. 鈴木勸子 (1977) 鉄質沈殿物中のシリカ, 地球化学講演要旨 p84.
8. 鈴木勸子 (1978) 鉄質沈殿物の析出状態, 地球化学講演要旨 p183.
9. 鈴木勸子・酒井幸子 (1980) 鉄質沈殿物中のマンガンの挙動 — 伊香保温泉を例として — 地球化学講演要旨 p156-157.
10. 鈴木勸子 (1982) 新庄温泉沈殿物, 温泉科学, **32**, 3, 136.
11. 鈴木勸子 (1982) 有機質に富む温泉沈殿物, 地球化学講演要旨 p291.
12. 酒井幸子・飯塚俊彦・氏家淳雄・鈴木勸子 (1983) 伊香保温泉と星尾温泉の引湯による化学成分の変化, 温泉科学, **33**, 4, 227.
13. 鈴木勸子 (1983) 金浦温泉沈殿物, 温泉科学, **33**, 4, 229.
14. 鈴木勸子 (1984) 鉄質沈殿物の有機質含量, 温泉科学, **34**, 4, 172.
15. 鈴木勸子・酒井幸子 (1985) 鹿沢温泉沈殿物, 温泉科学, **35**, 3, 105.
16. 鈴木勸子・酒井幸子 (1985) 島原, 北軽沢温泉のマンガン沈殿物, 地球化学講演要旨 p246.
17. 鈴木勸子・浅井和見 (1986) 御岳周辺の温泉水および温泉沈殿物について, 温泉科学, **36**, 2, 100.
18. 酒井幸子・小林隆志・氏家淳雄・鈴木勸子 (1986) 群馬県下浅間高原温泉の引湯による変化, 温泉科学, **36**, 2, 100.
19. 鈴木勸子 (1986) 阿寒・新見温泉のマンガン沈殿物, 地球化学講演要旨, p62.
20. 鈴木勸子・酒井幸子 (1987) 温泉から析出したマンガン沈殿物, 温泉科学, **37**, 2/3, 216.
21. 酒井幸子・小林隆志・氏家淳雄・鈴木勸子・松葉谷 治 (1987) 群馬県磯部温泉について, 温泉科学, **37**, 2/3, 207.
22. 鈴木勸子・酒井幸子 (1988) 荒船温泉沈殿物, 温泉科学, **38**, 1/2, 90.
23. 鈴木勸子・酒井幸子 (1988) 湯ノ小屋温泉のマンガン沈殿物, 地球化学講演要旨, p211.

24. 酒井幸子・富沢恒夫・斉藤 実・鈴木励子 (1990) 荒船温泉について, 温泉科学, **40**, 4, 169.
25. 鈴木励子・大下克己 (1990) 有馬温泉の鉄質沈殿物, 温泉科学, **40**, 4, 173.
26. 鈴木励子 (1990) 金浦温泉から析出した炭酸塩沈殿物, 地球化学講演要旨, p 130-131.
27. 鈴木励子・酒井幸子 (1990) 新四万温泉沈殿物, 温泉科学, **41**, 1, 92.
28. 鈴木励子 (1991) 夏油温泉沈殿物の走査電子顕微鏡写真, 地球化学講演要旨, p 190
29. 鈴木励子 (1992) 小浜温泉から析出した炭酸塩沈殿物, 温泉科学講演要旨, p 36.
30. 鈴木励子・酒井幸子 (1993) 伊香保温泉から析出したノントロナイト, 温泉科学講演要旨, p 30.

高圧, 超伝導関係 (口頭発表)

1. 常盤文子・庄野安彦・菊地昌枝・鈴木励子・小林則男・武藤芳雄 (1989) YBa_2CuO_y における Ca の置換効果, 日化秋季年会.
2. 菊地昌枝・常盤文子・庄野安彦・長瀬賢三・鈴木励子 (1989) $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_y$ およびその置換体の水素還元, 日化秋季年会.
3. 植木和宏・常盤文子・菊地昌枝・鈴木輝男・名越正康・鈴木励子・小林則男・庄野安彦 (1990) $\text{Ba}_{1-x}\text{K}_x\text{BiO}_{3-\delta}$ の酸素欠陥量と超伝導特性, 日化春季年会.
4. 菊地昌枝・中島 理・小林則男・梶谷 剛・長瀬賢三・鈴木励子・庄野安彦・鈴木輝男 (1990) $\text{Tl}_2\text{Ba}_2\text{CuO}_6$ の熱分析, 日化春季年会.
5. 中島 理・菊地昌枝・庄野安彦・長瀬賢三・小林則男・鈴木励子 (1991) $\text{TlBa}_2\text{Ca}_{n-1}\text{Cu}_n\text{O}_{y-v}$ 超伝導体の酸素欠陥量と超伝導特性, 日化春季年会.
6. 行木啓記・菊地昌枝・鈴木励子・中島 理・庄野安彦・淡路 智・渡辺和男 (1991) $\text{Bi}_{2-z}\text{Pb}_z\text{Sr}_{2-z}\text{La}_x\text{CuO}_y$ の構造および酸素量と超伝導特性, 日化春季年会.
7. 菊地昌枝・中島 理・庄野安彦・奥 健夫・鈴木励子・長瀬賢三・平賀ケンジ・小林則男 (1992) Tl 系超伝導体の金属元素比と酸素定量, 日化春季年会.

8. 行木啓記・菊地昌枝・鈴木励子・中島 理・庄野安彦・梶谷 剛（1992） $\text{Bi}_{2-x}\text{Pb}_x\text{Sr}_{2-x}\text{Ln}_x\text{CuO}_y$ ($\text{Ln} = \text{La}, \text{Nd}$) における超伝導特性と Cu 価数の関係, 日化春季年会.
9. 中島 理・菊地昌枝・庄野安彦・奥 健夫・鈴木励子・長瀬賢三・平賀ケンジ・小林則男（1992）Tl 系超伝導体の化学量論比と超伝導特性, 日物年会.